



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略部担当 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,676	△9.0	3,986	△11.0	4,163	△11.1	3,192	△5.5
2020年3月期第1四半期	13,935	△1.1	4,482	△6.3	4,684	△7.6	3,379	△8.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,338百万円(12.3%) 2020年3月期第1四半期 2,971百万円(△25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	78.08	—
2020年3月期第1四半期	82.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	91,575	75,172	82.1
2020年3月期	94,019	74,692	79.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 75,172百万円 2020年3月期 74,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	43.00	43.00

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△8.8	10,000	△37.9	10,300	△37.4	7,000	△38.8	171.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから未定です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	42,000,000株	2020年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,104,572株	2020年3月期	1,105,990株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	40,894,228株	2020年3月期1Q	40,925,835株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図るとともに、海外事業に引き続き注力しました。また、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指すため、映像製作・販売事業にも積極的に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による劇場作品の公開延期、テレビアニメの新作話放送休止、商品販売店舗の営業自粛、イベント・催事の延期・中止等があり、売上にも大きく影響しました。

一方、テレビアニメ作品の納品本数が減少したため、売上原価は低下しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、126億76百万円（前年同期比9.0%減）、利益については、営業利益は39億86百万円（同11.0%減）、経常利益は41億63百万円（同11.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億92百万円（同5.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

① 映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、「映画プリキュアミラクルリブ」（当初2020年3月20日公開予定）と「東映まんがまつり」（当初2020年4月24日公開予定）が公開延期となり、期初計画比では減収でしたが、当期中に公開予定の「美少女戦士セーラームーンEternal」他、一部作品の製作収入を計上したことから、前年同期比では大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「ヒーリングっど♥プリキュア」、「デジモンアドベンチャー:」、「おしりたんてい」の4作品を放映しました。新型コロナウイルスへの感染対策により、新作話の納品本数が減少したため、大幅な減収となりました。

コンテンツ部門では、劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」のブルーレイ・DVDが好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

海外映像部門では、中国向け大口映像配信権の売上計上が第2四半期へ後倒しとなったものの、サウジアラビア向け劇場作品の納品に加え、「ドラゴンボール超 ブロリー」の劇場上映権販売が北米で好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、アプリゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシースピリッツ』のサービス終了により、大幅な減収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は51億33百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は15億9百万円（同17.5%増）と大幅な増収増益となりました。

② 版權事業

国内版權部門では、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が、好調だった前年同期の勢いには至らなかったことや、前年同期好調に稼働した劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン向け許諾の反動減等により、大幅な減収となりました。

海外版權部門では、「スラムダンク」の中国向けアプリゲームや家庭用ゲーム『ドラゴンボールZ KAKAROT』に加え、アプリゲーム『ドラゴンボール レジェンズ』が好調に稼働したものの、前年同期好調であったアプリゲームの更新契約や新規許諾の反動減等から、若干の減収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は70億円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は33億90百万円（同12.7%減）と大幅な減収減益となりました。

③ 商品販売事業

商品販売部門では、前年同期好調に稼働した、劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン向けノベルティグッズ等の販売の反動減に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で商品販売店舗の営業自粛を行ったこと等から、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は4億12百万円（前年同期比63.9%減）、セグメント損失は75百万円（前年同期は、22百万円のセグメント利益）と大幅な減収減益となりました。

④ その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。新型コロナウイルスの感染拡大によるイベント・催事の延期・中止等の影響から、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は1億43百万円（前年同期比35.6%減）、セグメント損失は34百万円（前年同期は、9百万円のセグメント利益）と大幅な減収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2020年5月14日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様の利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当については、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,984	37,947
受取手形及び売掛金	10,622	9,806
有価証券	28	13
商品及び製品	331	548
仕掛品	5,414	5,543
原材料及び貯蔵品	90	83
その他	3,688	3,778
貸倒引当金	△77	△71
流動資産合計	60,081	57,650
固定資産		
有形固定資産	8,935	8,838
無形固定資産	454	518
投資その他の資産		
投資有価証券	12,258	12,559
その他	12,325	12,045
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	24,547	24,568
固定資産合計	33,937	33,925
資産合計	94,019	91,575
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,663	9,329
未払法人税等	2,798	807
賞与引当金	411	220
その他	3,828	3,427
流動負債合計	16,701	13,784
固定負債		
役員株式給付引当金	49	58
退職給付に係る負債	2,086	2,089
その他	488	469
固定負債合計	2,624	2,618
負債合計	19,326	16,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	68,087	68,415
自己株式	△694	△687
株主資本合計	73,669	74,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,365	1,596
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△340	△428
その他の包括利益累計額合計	1,023	1,168
純資産合計	74,692	75,172
負債純資産合計	94,019	91,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,935	12,676
売上原価	7,683	6,855
売上総利益	6,251	5,821
販売費及び一般管理費	1,769	1,834
営業利益	4,482	3,986
営業外収益		
受取利息	33	21
受取配当金	175	180
持分法による投資利益	11	—
その他	25	25
営業外収益合計	246	226
営業外費用		
支払利息	4	10
持分法による投資損失	—	29
デリバティブ評価損	19	—
為替差損	19	10
その他	0	0
営業外費用合計	43	50
経常利益	4,684	4,163
特別損失		
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	4,666	4,163
法人税、住民税及び事業税	1,128	798
法人税等調整額	158	171
法人税等合計	1,286	970
四半期純利益	3,379	3,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,379	3,192

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,379	3,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	231
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△126	△87
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△0
その他の包括利益合計	△407	145
四半期包括利益	2,971	3,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,971	3,338
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。